

例 言

1. 本書は、熊本県阿蘇郡西原村大字河原字大野に所在する河原第6遺跡において、2015年と2017年に実施した第2次、第3次発掘調査の研究報告である。
2. 調査に際しては、西原村教育委員会教育長曾我敏秀氏(調査時)をはじめとする同教育委員会の小谷桂太郎、矢野智子、麻生彩華各氏に多大なるご配慮を得た。
3. この調査は、日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(若手研究(B))(課題番号26770278)(研究代表者・芝康次郎)の交付を受けて実施したものである。
4. 調査主体は奈良文化財研究所、調査担当者は芝康次郎(奈良文化財研究所)である。
5. 調査区平面図に記した座標は、世界測地系の数値である。レベルは海拔を示す。
6. 調査には、熊本大学文学部考古学研究室を中心として九州内外の研究者の参加を得た。調査に際して、学生の調査参加に加え、器材利用等に関して熊本大学考古学研究室の全面的な協力をいただいた。ご許可下さった同研究室の木下尚子先生、小畑弘己先生、杉井健先生には厚く御礼申し上げる次第である。なお、各調査および整理作業の参加者名は第3章(7・8頁)に記した。
7. 調査および整理作業にあたっては、以下の皆様方からのご指導、ご援助を賜った。ご芳名を記して感謝申し上げます次第である(敬称略、五十音順)。芥川太朗、一本尚之、稲津暢洋、入江由真、岩谷史記、牛嶋 茂、大坪志子、岡本真也、越知睦和、小畑三千代、角縁 進、加藤真二、岸田裕一、甲元眞之、寒川朋枝、島津義昭、杉村彰一、伊達惇一郎、花岡興文、日高優子、福田正文、淵ノ上隆介、船井向洋、古森政二、馬籠亮道、正岡祐一、松永直輝、松本 茂、南健太郎、宮縁育夫、三好栄太郎、柳田裕三、山下宗親、山野ケン陽次郎、綿貫俊一
8. 本書の図版に用いた写真は、現場写真を牛嶋茂氏と芝が、遺物写真を中村一郎氏(奈良文化財研究所)が撮影した。なお撮影者は図版目次に記した。
9. 本書の編集は芝がおこなった。本書は、第6章1は加速器分析研究所の報告書を転載し、2は佐賀大学角縁進教授と芝との共同で執筆し、その他は芝が執筆した。